

事業実施体制（亀山市）

[現状と課題]

- 拠点校（亀山西小学校・亀山中学校）に初期適応指導教室及び日本語指導教室を併設し、個別指導等を行うことで、外国人児童生徒へのきめ細かな指導や支援に努めている。家庭環境に関わる転出入や多言語化、拠点校に通学できない、など対応しなければならない事象が増加している。また、日本語がほとんどできない児童生徒の転入等もあり、限られた指導者数のもと実践を行っていかなければならないなどの課題がある。

・外国人児童生徒支援員の配置による学校支援

・外国人児童生徒支援員による継続した学習・生活支援を行った。

・「特別の教育課程」による日本語指導の推進

・「特別の教育課程」による個別指導計画の提出（提出率100%）

・担当者会の実施による情報交換や支援体制等の交流の機会の確保

・外国人児童生徒担当者会の実施。

関係機関等との連携による支援体制の確立

拠点校での実践事例を市内で共有することで、市全体の外国人児童生徒教育の推進を図るとともに、学力の保障による進路の選択肢を広げる。